

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	21220	電話	042 - 742 - 0042
担当部課名	環境事業部	相模台収集事務	所	管理 係
事務事業名	し尿収集車両維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第 2 節	リサイクル型社会の構築	63以前年度
施策名	第 施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--	--	--	--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
市内全域のし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬を行うため、適正に収集車両を配備し、市民生活に必要な廃棄物の適正処理を図る。		生便槽、浄化槽、仮設トイレの使用者	
		対象数	32,618人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
市街化区域の公共下水道整備が完了し、し尿収集を必要とする浄化槽及び生便槽の世帯が減少している中、計画的な人員削減及び減車を図った。 車両数 2t車(1台)、3t車6台(2台)、4t車5台(2台)、10t車(1台) 計11台(6台) ()は乗換車 収集量 浄化槽 12,970kl 生し尿 4,160kl 計 17,130kl 件数 浄化槽 4,413件 生し尿 26,309件 計 30,722件			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	5年間の減車達成率	当該年度減車台数 / 5年間の減車数(13台) × 100 : %	収集件数及び収集量に見合った車両台数を確保する。	31	23	8	23	15
	5年間の減車台数	12年度17台、13年度13台、14年度13台、15年度10台、16年度10台(見込み) 乗換車を除く	収集件数及び収集量に見合った車両台数を確保する。	4台	3台	1台	3台	2台

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	13,326	13,151	13,705	13,264	13,000
	人員・時間数	1	1	1	1	1
	人件費	839	839	839	839	839
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	14,165	13,990	14,544	14,103	13,839
特定財源	0	0	0	0	0	
対象数	48,699	37,891	32,618	28,000	24,000	
対象の単位あたり経費	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	し尿、浄化槽の収集件数が減少するなか、最小限必要な車両台数の確保を図った。
(2)必要性 評価 B ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	し尿、浄化槽世帯等の公共下水道への切り替えが推進される中、民間への事業化ができにくい状況である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	市民の要請にしたがい、し尿・浄化槽汚泥の適正な収集処理を行った。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	収集件数・収集量が減少する中、人員・車両の削減をして効率化を図った。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	公共下水道の普及率が97%の状況で、し尿・浄化槽世帯等の公共下水道への切替が期待されている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある	説明: 公共下水道の調整区域内整備が進められるなか、し尿・浄化槽汚泥の収集量減少に伴う人員・車両の一定の削減は、期待できるが、災害時等の対応に必要な収集設備を確保しなければならない。	手段	公共下水道整備済区域内にある、し尿・浄化槽世帯のより一層の公共下水道への切替の推進。
<input checked="" type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		近隣市町村においては、相模原市と同様に公共下水道普及に伴いし尿・浄化槽世帯が減少する傾向であるが、一方従来の民間事業の継続が難しい状況もでてきている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	本事業に関しては、公共下水道整備が調整区域内へと進み、し尿、浄化槽の収集件数・収集量が減少する中、計画的な減車と人員の削減が図られた。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--